

医師・看護師・介護職員的大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 187 号
2014 年 2 月 18 日
日本医労連
増員・夜勤改善闘争本部
TEL: 03-3875-5871

島根県が全国初、実態調査実施

看護師の夜勤改善、月 8 日以内の実現を

近日、調査結果公表

島根県が勤務環境改善へ向けて、全国で初めて看護師の勤務実態調査を行いました。島根県はこれまで、毎年看護職員実態調査を県内の病院を対象に行ってきましたが、看護職員を対象とした勤務実態調査(夜勤実態、勤務編成の基準、時間外労働)は初です。全国的にも県が行うのは初の調査となりました。

島根県医労連はこれまで、街頭署名や、県議に積極的な働きかけを行ってきました。昨年末、県医労連の会議に県議と県の健康福祉部職員を招き、「夜勤回数は毎月 10 回以上、身体面でもう限界」「残業は自主申告制、夜勤協定締結できていない、職場にタイムカードがないところも多い」「朝の 5 時までの夜勤、ロング日勤。24 時間の休日はほとんどない」など、劣悪な環境で働く看護職員の実態を証言しました。看護師確保法の基本指針が守られていない深刻な実態は、直ちに県議会で取り上げられ、詳しい実態を把握するため、県は同調査の実施に踏み切りました。

県担当者から日本医労連にも問い合わせがあり、調査作成にあたり情報提供しました。

作成されました調査結果は、近日中に公表されます。11 月定例会で知事からは、「看護師の方々をはじめ勤務環境が改善するよう努力したい、県としてできるかぎりの対応をする」と答えがありました。

島根県医労連は、「勤務環境改善のための運動と行政を変えていくことは一体、今後も行政を動かし、県内全ての病院で夜勤月 8 日以内を、全国先陣を切って実現できるよう頑張っていきたい」としています。



介護保険改悪に反対！ 特養施設長 1 万 6 千人署名提出

特養ホームの施設長らでつくる「21 世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」は 2 月 17 日、厚労省に介護保険制度の抜本的改善を求める署名 1 万 6 千人分を提出しました。要支援者の介護保険外しをしないことや、特養ホームの入所を要介護 3 以上に限定しない、そして介護職員の増員と処遇改善のための介護報酬の大幅な改善を求めています。

政府は介護保険改悪法案の今国会成立をめざしており、同連絡会は全国の特養ホームに協力を呼びかけています。

大幅増員署名、ただいま紹介議員 33 名！

民主党	田嶋 要	衆
民主党	奥野 総一郎	衆
民主党	菊田 真紀子	衆
民主党	小川 淳也	衆
共産党	高橋 千鶴子	衆
共産党	佐々木 憲昭	衆
共産党	小池 晃	参
共産党	紙 智子	参
共産党	山下 芳生	参
社民党	福島 みずほ	参

2 月要請行動
で新たに
賛同頂いた
議員一覧



全国の取り組みをお寄せください！